

■■ インフルエンザウイルス迅速検査と治療 ■■

内科 三村 敬司

インフルエンザの流行する季節となりました。
当院でも「インフルエンザが流行しているため、こまめな手洗いうがいを習慣づけましょう」と注意喚起が行われています。



<インフルエンザとは>

インフルエンザは、インフルエンザウイルスに感染して引き起こされる呼吸器感染症です。

急激な倦怠感と発熱が特徴的で、咳・咽頭痛・鼻水が続きます。学童がり患すると、出席停止となる病気です。

最近では、インフルエンザウイルスにかかると特徴的な“リンパ濾胞”が咽頭後壁にみられることが分かってきました。(右図参照)。



のどの奥に半透明の“イクラ”のようなつぶつぶがみえることがある大きさは一棧。

咽頭後壁の模式図

<検査と治療>

問診と検査により診断されます。

検査：インフルエンザウイルスに感染しているかどうかを迅速に診断するキットを用いて行ないます。

治療：オセルタミビル（タミフル）やザナミビル（リレンザ）のような抗ウイルス剤は発症後48時間以内の投与開始で症状軽減が期待できます。

—受診時の注意—

発熱がある場合は、お電話でその旨をお知らせください。咳が出る場合はマスクをしていただくと待合室などでの感染伝搬を防ぐことができます。

—流行状況などについて—

東京都感染症情報センターでは毎週患者数やウイルスの分離状況の更新をしています。また目黒区や世田谷区の保健所も情報発信していますので、情報収集にご活用ください。